

生徒の実態(国及び県の学力学習状況調査から)

埼玉県学力・学習状況調査結果 特集

「学力」

1 結果は次のようにお知らせします。(結果の提示方法)

埼玉県全体の平均達成率との比較です。達成率はすべて%の数値です。

県平均より+5.1%以上 : 「A」評価 (県平均の正答率よりも5%以上上位である。)

県平均を中心に±5%前後 : 「B」評価 (ほぼ県平均の正答率と同程度である。)

県平均より-5.1%以上 : 「C」評価 (県平均の正答率より5%以上下位である。)

2 正答率の領域名(正答率の項目の内容)

- (1) 「教科の指導領域別正答率」とは、各教科で指導している内容の領域別の正答率。
- (2) 「評価の観点別正答率」とは、通知票や指導要録に掲載する評定(A・B・Cで記載)する項目と同じ項目の正答率
- (3) 「問題形式別正答率」とは、問題形式別の正答率(選択式=選ぶ問題、短答式=短く語句や言葉、式等で答える問題、記述式=論述したり文章で答える問題)

<1学年>

国語 1年	正答率 %	教科指導領域別正答率			評価の観点別正答率				問題形式別正答率		
		話す 聞く 書く	読む	言語文化と 国語の特 質	話す・ 聞く能 力	書く能 力	読む 能力	言語につ いての知 識・理解 ・技能	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数学 1年	正答率 %(算数 領域)	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		数と計 算	量と測 定	図形	数量 関係	数学 的な考 え方	数量や 図形に 関する 技能	知識 理解	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

【分析】国語・数学(算数領域)ともに、ほぼ埼玉県平均と同程度の学力でした。記述式の正答率が、県平均よりも若干低い状況です。

<2学年> 数学は、算数(小学校)の領域からも出題されています。

国語 2年	正答率 %	教科指導領域別正答率			評価の観点別正答率				問題形式別正答率		
		話す 聞く 書く	読む	言語文化と 国語の特 質	話す・ 聞く能 力	書く能 力	読む 能力	言語につ いての知 識・理解 ・技能	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数学 2年	(算数 領域)	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		数と計 算	量と測 定	図形	数量 関係	数学 的な考 え方	数量や 図形に 関する 技能	知識 理解			
評価		C	C	B	B	B	C	C			

数学 2年	正答率 % (数学 領域)	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		数と式	図形	関数	資料 の活 用	数学的な 見方や考 え方	数学的な 技能	知識 理解	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B
英語 2年	正答率 %	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		聞くこ と	読むこ と	書くこと	関心 意欲 態度	表現能力	理解能力	言語や文 化につい ての知識理 解	選択 式	短答 式	記述 式
評価	C	C	C	B	C	A	C	C	C	C	A

【分析】国語・数学とも、県と同程度の正答率でしたが、数学については、算数領域に課題を残しています。また、英語は、表現の能力と記述式にかなり力を持っていますが、基本的な部分に関する課題があるのがわかります。

< 3 学年 >

国語 3年	正答率 %	教科指導領域別正答率			評価の観点別正答率				問題形式別正答率		
		話す 聞く 書く	読む	言語文化と 国語の特 質	話す・ 聞く能 力	書く能 力	読む 能力	言語につ いての知 識・理解 ・技能	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B
数学 3年	正答率 % (数学 領域)	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		数と式	図形	関数	資料 の活 用	数学的な 見方や考 え方	数学的な 技能	知識 理解	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	C	B	B	B	B	C	B	B	C	B
英語 3年	正答率 %	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率			問題形式別正答率		
		聞くこ と	読むこ と	書くこと	関心 意欲 態度	表現能力	理解能力	言語や文 化につい ての知識理 解	選択 式	短答 式	記述 式
評価	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B

【分析】国語・数学・英語ともに、県と同程度の正答率です。英語は、2年生同様、「表現する能力」が高い状況です。数学に関しては、「数と式」「数学的な技能」に関して課題があります。

「規律ある態度」

結果は次のようにお知らせします。(結果の提示方法)

質問紙による自己評価です。「できている」「だいたいできている」と回答した生徒の割合を合計したものです。

「A」評価(達成率80%以上) / 「B」評価(達成率79.9%~60%)

「C」評価(達成率59.9%以下) / 本校・春日部市・埼玉県も記載

内容	項目		中1			中2			中3		
			校	市	県	校	市	県	校	市	県
けじめのある生活	1 時刻を守る	登校時刻	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		授業開始時刻	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	2 身の回りの整理整頓	靴をそろえる	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		整理整頓	A	A	A	A	A	A	A	A	A
礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする	あいさつ	A	A	A	B	A	A	A	A	A
		返事	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	4 ていねいな言葉づかいを身につける	ていねいな言葉づかい	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		やさしい言葉づかい	A	A	A	A	A	A	A	A	A
約束ときまりをまもることができる	5 学習のきまりを守る	学習準備	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		話を聞き発表をする	A	B	B	B	B	B	B	B	B
	6 生活のきまりを守る	集団の場での態度	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		掃除・美化活動	A	A	A	A	B	A	A	B	A

【分析】

- 1 「時刻を守る」=県や市以上の達成率でした。
- 2 「身の回りの整理整頓」=県や市と同程度の達成率でした。
- 3 「進んであいさつや返事をする」=2年生の達成率が78.3%で評価「B」です。
- 4 「ていねいな言葉づかいを身につける」=市や県より高い達成率でした。

これは、保護者の皆様や教職員の日ごろの言葉づかいがよいモデルになっているのではないかと考えられます。これからも、大人がていねいで、優しい言葉づかいを心がけてまいりましょう。地域全体としてうれしい結果であると考えます。

- 5 「学習のきまりを守る」=「話を聞き発表する」という項目が全県的に課題です。本校も同じです。「聞くこと」と「話すこと」を大切に学習活動を心がけようと考えます。
- 6 「生活のきまりを守る」=県と同程度の達成率です。様々な活動のなかで、個人と集団のあり方を学ぶ機会が設定できるようにしていくことが大切であると考えます。

全国学力調査の結果から

<全国学力・学習状況調査結果から>

A問題＝基本的な知識・技能を問う問題

B問題＝基礎的な知識・技能を活用する力を問う問題

国語	正答率 %	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率					問題形式別正答率		
		話す 聞く	書く	読む	言語文 化と国 語の特 質	国語 への 関心 意欲 態度	話す・ 聞く 能力	書く能 力	読む 能力	言語につ いての知 識・理解・ 技能	選択 式	短答 式	記述 式
A 問題	B	C	B	B	B		C	B	B	B	B	B	
B 問題	B		B	C		C		C	B		B	B	C

数学	正答率 % (数学 領域)	教科指導領域別正答率				評価の観点別正答率				問題形式別正答率		
		数と式	図形	関数	資料 の活 用	数学への 関心意欲 態度	数学的な 見方や考 え方	数学的な 技能	知識 理解	選択 式	短答 式	記述 式
A 問題	B	B	B	B	B			B	B	B	B	
B 問題	B	B	B	B	B		B	B		B	B	B

※斜線は測定していない項目です。

【分析】県の調査では、数学の3項目が「C」でしたが、全国のほうでは、むしろ、国語の活用力に課題のあることが明確になりました。国語の総トータルは全国平均程度ですが、基本的な「話す聞く」、活用力としての「読むこと」・「書くこと」や「記述式」の問題に関しては、国語を基盤にどの教科でも授業の最後や単元の最後の振り返りの段階で、書かせることの必要性を実感します。すでに進めていますが、この取り組みを今後も継続したいと考えています。

<質問紙調査から>

県の調査も国の調査も同じような傾向でしたので、全国の調査を報告します。

全国平均より+5.1%以上：「A」評価（全国平均の回答率よりも5%以上上位である。）

全国平均を中心に±5%前後：「B」評価（ほぼ全国平均の回答率と同程度である。）

全国平均より-5.1%以上：「C」評価（全国平均の回答率より5%以上下位である。）

数字はすべて回答率「%」です。

※ 数値は、「はい」「どちらかというとはい」 という肯定的な回答の合計です。

1 全国平均よりも高い数値を残した項目（評価：Aの項目）

No	質問内容	評価	本校	埼玉県	全国
5	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか？	A	78.0	71.8	69.6
6	自分には、よいところがあると思いますか？	A	81.3	68.2	69.3
9	将来の夢や目標をもっていますか？	A	79.9	73.6	71.1
20	家の手伝いをしていますか？	A	76.1	68.4	67.2
23	家で、学校の授業の予習をしていますか？	A	45.5	40.5	34.2
24	家で、学校の授業の復習をしていますか？	A	61.7	53.7	51.0
28	学校で、好きな授業がありますか？	A	86.1	78.1	79.9
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか？	A	71.7	62.2	65.8
64	読書は好きですか？	A	80.4	72.2	69.9

【分析】とくに「自尊感情」の高いことに喜びを感じます。また、「読書が好き」というのも今後のトータルな学力の向上に必ず資すると確信しています。こうしたことは本校の生徒たちのよりよい特性です。本校は、こうしたよりよい特性をこれからも伸ばす教育活動を進めます。人は、その「よさ」をもとに社会を生きていきます。人は、その人のもっている「強み」で生きていくからです。

2 全国平均よりも低い数値を残した項目（評価：Cの項目）

No	質問内容	評価	本校	埼玉県	全国
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？	C	60.8	72.1	70.2
37	新聞を読んでいますか？	C	11.5	16.3	18.3

3 全国的に低い項目（本校だけではなく、全国的に低調な項目）

No	質問内容	評価	本校	埼玉県	全国
10	平日の就寝時刻(PM10時以前の比率)	B	6.7	6.0	7.1
11	平日のTV・DVD視聴時間(3時間以上の比率)	B	20.6	22.2	24.1
12	平日のゲーム・携帯・スマホ時間(3時間以上の比率)	B	18.1	17.3	18.9
34	地域の行事に参加していますか？	B	42.6	41.3	45.2

【分析】就寝時刻やスマホ・ゲームを使用する時間、地域行事への参加等、今後解決すべき地域の課題として、学校も家庭も地域もいっしょになって取り組んでいくべき課題です。本校のために、これからもご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。皆さんで、いっしょに私たちの地域の子どもたちの健全な育成を目指してまいりま